

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回弘前市地域自立支援協議会
開 催 年 月 日	令和4年8月23日(火)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後3時30分から午後4時15分まで
開 催 場 所	弘前市民会館1階 大会議室
出 席 者 (1 6 名)	小林 雅也 会長 三浦 千秋 委員 (相談支援専門部会 部会長) 村上 武史 委員 (就労支援専門部会 部会長) 太田 真 委員 (こども専門部会 部会長) 菊池 健弥 委員 (医療的ケア児専門部会 部会長) 三浦 睦智美 委員 山本 達也 委員 下川原 慶子 委員 大中 実 委員 久保 栄一郎 委員 森山 正 委員 大高 義昭 委員 會津 茂子 委員 笹森 智彦 委員 丸山 龍太 委員 豊島 幸弘 委員
欠 席 者 (5 名)	五代儀 明子 委員 (地域移行専門部会 部会長) 須藤 武行 委員 山田 司 委員 土岐 浩一郎 委員 青木 範子 委員
事務局障がい福祉課 職 員 の 職 氏 名	福祉部長 秋元 哲 障がい福祉課長 成田 亜弘 障がい福祉課長補佐 前田 修 障がい福祉課障がい者支援係主幹兼係長 鳴海 雅剛 障がい福祉課障がい者支援係総括主査 鈴木 由乃 障がい福祉課障がい者支援係主事 吉田 沙織 障がい福祉課障がい者支援係主事 對馬 恵大

会 議 の 議 題	委員改選に伴う委嘱、組織会、その他。
会 議 結 果	委員改選に伴う委嘱状交付、組織会を行ったほか、委員からの意見を伺った。
会 議 資 料	なし

会 議 内 容	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 組織会</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
1 開会	
2 委嘱状交付	委嘱状交付後、市長挨拶。
3 組織会	<p>社会福祉法人弘前市社会福祉協議会岩木支部長兼弘前市身体障害者福祉センター所長 小林 雅也委員を会長にこの推薦があり、全会一致で決定。</p> <p>会長より、会長職務代理者として、弘前学院大学 丸山 龍太委員を指名。</p> <p>専門部会の所属について、会長より、事務局案配付を指示。</p> <p>事務局案は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門部会：五代儀 明子委員、三浦 千秋委員 ・就労支援専門部会：村上 武史委員、大中 実委員、久保 栄一郎委員、豊島 幸弘委員 ・こども専門部会：太田 真委員、菊池 健弥委員、三浦 睦智美委員、山田 司委員、大高 義昭委員、下川原 慶子委員 ・地域移行専門部会：須藤 武行委員、會津茂子委員、五代儀 明子委員、青木 範子委員 ・医療的ケア児専門部会：菊池 健弥委員、三浦 睦智美委員、山本

<p>4 その他</p>	<p>達也委員、下川原 慶子委員、青木 範子委員</p> <p>委員からの反対意見はなく、案のとおり決定。</p> <p>専門部会の部会長について、会長より以下のとおり指名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門部会：三浦 千秋委員 ・就労支援専門部会：村上 武史委員 ・こども専門部会：太田 真委員 ・地域移行専門部会：五代儀 明子委員 ・医療的ケア児専門部会：菊池 健弥委員 <p>会長 組織会が終わりましたので、次は4 その他となりますが、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。</p> <p>太田委員 こども部会のほうの会長をさせていただいておりました太田でございます。またこれから2年間よろしく願いいたします。</p> <p>2、3、あるのですけども。前もこの場の中で少し話題にはさせていただいた内容ではあるのですが、地域自立支援協議会ということなので弘前に住まれている障がいのある市民の方々の生活のことを考えるってことでいうと、施設に住まわれている、生活されている方々も一市民でないのかというようなところでいうと、自立支援協議会の中でも施設で生活されているかたの生活のことを、地域生活のことを考えていくということも一つ考えたらどうかというような。4年前、2年前、今年とたぶんこれで3回くらい一応お話しさせていただいてるかと思えます。その辺のこともですね、また今後いろいろ。管轄とかいろいろあるのかもしれないのですけども、市民という視点から考えていくと協議会の中でも何かの部会で話ができるような、もしくは、施設で生活されている方々も、何かしら困っていることとかもいろいろあったりするかと思いますので、そういったところを少し議論できる場もあってもいいのかなと思ってましたので、また、事務局含めて検討進めていければいいのかなと思っております。</p> <p>あと、先ほど市長のほうからもありましたけども、大変この協議会、制度づくり、提言というようなことで重要であるということで認識しているというところでお話がありました。昨年こども部会のほうから協議会のほうにあげさせていただいた弘前市こどもインクルーシブ推進事業というもの、こちらのほうから協議会の承認を得て提言をさせていただいた訳なんですけども、その後どうなったかというのは</p>
--------------	---

一応私のほうには結果として、残念ながら予算がつかなかったということでお話はあったんですが。協議会からの、なんというのでしょうか、そのあと、こども部会から協議会のほうに報告ができていない状況でもあるので。昨年ですね、こういった提言をさせていただいたことが、どういった経緯で、また結果としてどうだったかということは、何か今後もし提言する中で行くと、事務局もしくは、まあ、どういう形で結果がどうなったかっていうのが周知できるのかは、まだ私のほうは分かりませんが、そういった結果がどうなったかということは協議会の中でも報告されているのではないかなと思っております。大変重要な協議会ということで認識されているということですので、ぜひその辺もご検討いただきたいなと思っております。

あと、これちょっとお願い、お願いばかりですが、協議会の議事録が平成29年度から更新されておられません。ですので、その辺。また、去年とかも、結構、回数はコロナの影響で減ってはいるのですが、いろいろみなさんから、私も含めて委員からの意見たくさん出てくるかと思っておりますので、そういったことがホームページで出てますと、何かしら目に触れる機会ですとか、公開できる場で、いろいろ議論できることもあるかもしれませんので、是非ともその辺もまた大変お忙しい中だとは思いますが、そういった更新もできればいいのかなと思ってました。

最後になるのですが、こども部会といってもやはりずっとみんなこどものままでいる訳ではないので、もちろん年齢重ねながら、もちろんこどもは生れてはくるんですけどもね。そういった意味ですごく、協議会の中で話し合われる中で、就労というのが大変注目されながら議論があるかと思っております。されても来ているんですけども、一方で就労というところと、日常生活と申しますかそういった余暇の部分もこういった協議会の中でも少し話できてもいいのかなと思っておりました。成人イコール就労というところの、もちろんそこは大事な部分ではあるとは思いますが、どうも成人になったら就労だ、ということだけが生き方でしか、こう、なんていうかな、イコールっていうだけではなくていろんな生き方がある中で、障がいがある方だったりとか、いろんな人たちの生き方を考えていくというのも一つあっていいのかなと思っておりました。ですので、就労というところ以外の余暇ということもですね、どこかで議論できる場があってもいいのかなと思っておりましたので、今後また、今年度といいますとあと半年くらいしかないですけど、また引き続いてこの協議会において議論できる場があればいいのかなと思っておりました。以上です。

会長

太田委員より4点ご意見頂戴いたしました。

まず初めに、本協議会として市内在住の障がいのある方を対象とすることであれば、施設入所者の方も同じ地域で生活している弘前市民ということでそちらにもしっかりと目を向けて対応していくということが必要ではないかということ。市長の挨拶の中にもございました共生社会ということでもございますので、そちらの意義を協議会の中で共有してくことにしては良いのではということ。

また、こどもインクルーシブ推進事業ということであげさせていただいた事業について、その経過、あるいは結果について、協議会の内部で共有する機会が必要であるということで、今後また新たな様々な事業を提案していく中で、そういった経過であるとか結果あるいは取組状況であるとかを、しっかり共有していくことが重要だということであるかと思えます。

三点目といたしまして、議事録につきましては途中から更新されていない部分があるということで、実は私のほうでも市のホームページのほうから閲覧させていただいておりまして協議会の動きのほう見させていただいておりますけれども、情報発信あるいは弘前市内ということだけではなく広く情報を弘前市外にも向けていく。様々な方にこういった形で協議会が進められているということをお示しするためにも丁寧な情報発信の仕方が必要ではないかというようなことかと思えます。

そして最後に障がいのある方、とかく就労ということが自立ということでもまず第一点で捉えられがちなんですけども、生活をトータルで捉えた場合に、余暇も含めて捉えていく必要がある、私たちの生活でも同様でありますけれども、何のために働くのか、あるいは人生、生活をどういった視点によれば豊かなものにしていけるのかと。そういった生き方全般を考えていく視点というのもまた協議会の中で共有することができればいいのではないかというようなお話だったかと思えます。

このことにつきまして、事務局のほうから何かございますか。

事務局

まず最初の部分につきまして、市内の施設に住んでいる方に対する対応という部分でございます。こちらにつきましては、何か手法など・・・協議会の中、あとは部会などで、どちらで扱うのが適切かというところもございますけども研究して、対応をとればというふうに、お話を聞いて考えております。

次にこどもインクルーシブ、昨年の事業の部分でございますけれども、協議会で話し合われた内容として市の施策として取り入れていく過程についての報告という部分でございます。昨年度、コロナなどで協議会など流れてしまった部分もあるんですが、こちらは協議会のほ

<p>会長</p>	<p>うにもご説明ご報告させていただくようにしたいと思います。</p> <p>三番目の協議会の議事録、ホームページの部分です。こちらにつきましては、準備のできたものから順次公表していくものでございます。更新が漏れてた部分もございましたので、改めて、情報発信の重要性のほうを捉えてやっていきたいと思えます。</p> <p>最後、四番目のところでございますけれども、就労という道とそれ以外の余暇という形で、就労だけではなくて、生活をトータルでという部分でございます。こちらは利用者の方、障がいをお持ちの方にいろいろな視点からアンケートをとるなど、来年度以降、また障がい者計画の更新、新たな策定などもございますので、そういったアンケートなどをとる機会などを利用しながらどのようなことができるのかという部分についてトータルで。事務局としても研究して提案していければというふうに考えてございます。以上でございます。</p> <p>他に何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それではないようですので、本日の協議会につきましては、以上を持ちまして終了とさせていただきます。皆様、議事にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議は公開。 ・傍聴者なし。